

で妊娠出産を別のものだと
はつきり区別しているだろ
うが、生まれた後は区別し
なくなる（日常的には双子
に対して「セツト感」を求
めることは多いけれど）。

自治体によつて異なるが、
育児支援ヘルパー制度で、
利用できる期間が少し長い
か回数が多くなっているこ
とが公的支援の代表例であ
る。

多胎をはじめとする少数
派の育児から少子社会が学
ぶことは多いのではない
か。父親の関わり方もしか
り。同時に、議論が必要な
こともたくさんある。生殖
医療のありかたはその一つ
だろう。いずれにしても、
生まれてきた子どもたちを
歓迎し、健やかに育む社会
を築くことが要だ。